

# 総合戦略の見直しに関するご意見・ご提言について

当日出席委員 11名

基本目標	ご意見・ご提言
<p>1 地域の特性を生かした雇用を創出する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性として、第1次産業が主であるので農業の魅力を若い人に発信し、AIやドローンを使い雇用を創出してほしい。</li> <li>・生姜の栽培が盛んなのに人材が高齢化しているため深刻になっているが、生姜の季節作業員を都会から受け入れることができるように町の方で宿泊先を確保し、雇用に力を入れてほしい。</li> <li>・外国人の雇用を進めたら良いと思う。</li> <li>・スマート農業を進めたら無人トラクタ等による作業が主流になると思う。多大な投資が必要となるが検討したい。</li> <li>・人口減少が進んでいる状況では、4つの基本目標を達成するのは至難の業である。外部目線のエキスパートを登用することや講師を招聘し、積極的に活用することで雇用創出に繋げてほしい。今後も、企業誘致・起業・創業、商店街の活性化を図ることはもとより、既存の企業や商店を衰退させない取組も必要である。</li> <li>・全国の優良事例も参考にして、本町の課題解決にあたってほしい。</li> <li>・成果をあげている商品開発や道の駅、ネット販売による雇用の創出を支援・充実させてほしい。</li> <li>・町内高校生の町内での就職の促進について、町内企業の実態を具体的に知ってもらうことがまず重要と考える。説明会からもう一步踏み込んで、長期のインターンシップ実施等「知る」から「体験する」そして『就職意欲』につなげる施策に期待します。</li> <li>・高校生の町内就職の促進の施策の記述で、「町内の労働力不足解消を目指し」とあるが、もう少しポジティブな表現にならないか検討してほしい。</li> <li>・地産外商のところで、B to B が中心という話ありましたが、人材育成という観点からも外商人材の掘り起こしと育成という点から、B to B だけにこだわらず、少し教育観点からB to C というところにも視野を広げてみてはいかがでしょうか。</li> <li>・「観光」について、産業の視点で記述を追加することは難しいでしょうか。</li> </ul>
<p>2 四万十町への新しい人の流れをつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川ガキの育成について、川に親しむ子どもを増やすとあるが、水は命に関わる危険を含むことから、安心・安全面についての川の親しみ方を考えていく必要があるのではないか。</li> <li>・川ガキ育成事業について、町内の子ども達が四万十川に親しみ郷土愛を育むと同時に、川に親しみのない町外の地域の子ども達を招待し、川遊びを通して交流ができれば、町外からの人の流れ（観光）にもつながるのではないか。</li> <li>・Uターンは人口増の為に必要と考える。定住できる住家がない人に対して町として相談体制の強化が必要と思う。</li> <li>・本町にある文化遺産や自然遺産、歴史・民族やパワースポットなどを整理し、情報発信を行うことで、地域への理解を深めてもらうよう取り組んでほしい。</li> <li>・宿泊施設や農園において、体験などができるプログラムを設けてもらうための支援を行うことも大切ではないか。</li> <li>・企業誘致も新しい人の流れをつくるために有効であると思うので、そのために必要な条件整備を計画立てて行ってほしい。（超高速ブロードバンド環境の実現やサテライトオフィスの整備など）</li> <li>・移住者数の目標値を600人以上あるいは700人にしてはどうか。実績としては年間180人程度あるようですので。</li> <li>・観光は基本目標1に掲げてみてはどうか。</li> <li>・四万十川の景観や魅力を向上させるため、よせへの対策に力を入れてほしい。</li> <li>・小中学生にこの川ガキ育成で美化の方を教育して欲しいと思います。</li> <li>・シティプロモーションについて、人目線の動画についても、いろいろ心掛けてバランスのいい動画作成をお願いできたらと思います。</li> </ul>

<p>3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出産子育てには大きな費用が発生するため企業で正社員の雇用を拡大し、安心して子育てできるのが大切。若い世代の少子化問題の1つはアルバイトなど不安定な収入にあると思う。</li> <li>・ 学問的意欲のある子どもが高等教育を受けられる様、給付型奨学金の充実をお願いしたい。</li> <li>・ 結婚の希望をかなえるための出会いの機会が少ないことや結婚を望まない割合も増加傾向にある。学校教育でも少子化の問題も学習しながら、模擬議会の開催などを通して将来の暮らしについて考える学習を行うことも大切ではないか。</li> <li>・ 結婚に向けた支援策や出産・子育ての支援策について丁寧な検証を行い、改善の充実に努めてほしい。</li> <li>・ 子ども子育て支援事業計画の完全実施や専門診療科の確保に努めてほしい。</li> <li>・ 医療（小児科及び産婦人科）が受けやすい環境の整備について、行政で可能な限り目標に盛り込んでいただければと思う。なお、医療に関するオンラインシステム相談のシステムについては、四万十CATVの動画制作等もご検討いただき、周知に取り組んでいただくようお願いしたい。</li> <li>・ オンライン診療（小児科、産婦人科等）について、計画の本文に盛り込んではいかがでしょうか。</li> <li>・ 出会い応援センターについて、もっと広く周知していただければ、地元で話が盛り上がってくるのではないかと感じました。</li> </ul>
<p>4 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の介護についても人材の確保に取り組んでほしい。</li> <li>・ 予土線の存続について危惧している。鉄道を失うことは計り知れない損失といえるので町としてできる限りの支援を行ってほしい。</li> <li>・ 現在の図書館・美術館の課題改善のために計画されていた文化的施設建設が中止となっている。建設の基本構想・基本計画は本計画の基本目標に関連しており、町づくりの重要な拠点施設となるはずであったので、計画が進んでいないことは非常に残念である。教養や人材育成の観点からも大きな損失に繋がっている。</li> <li>・ 高齢者の割合が増加している現状の中で、公共交通による輸送サービスの効率化の向上を図ることが大切である。</li> <li>・ 老朽化している橋梁の改善も急務であると思う。</li> <li>・ 町立図書館の利用人数（KPI）について、人数把握の方法の問題かと思いますが、カウントされるのが「実際に資料を借りた人数」のみでは、資料の閲覧や催しの参加者（読み聞かせなど）等の利用人数が反映されず、過小評価につながってしまうのではないのでしょうか。利用人数の定義を見直されてはどうでしょうか。</li> <li>・ 地域で重機の免許をもっている方を対象に、普段使っているユンボ以外の例えば掘む重機とかの操作訓練をやってはどうかと提案させていただきます。</li> </ul>
<p>デジタル実装の基礎条件整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者も含めて全ての人々がデジタル化に慣れるよう取り組んでほしい。スマホサポーターによる相談会の取り組みについてはこのまま進めてほしい。</li> <li>・ スマホサポーターの高校生の登用については頼もしく思う。</li> <li>・ 地方が都市に負けない状況になるためには、デジタル実装の整備を更に進め、利便性を向上させる必要がある。超高速ブロードバンド環境の実現は必要不可欠であるため取組をお願いしたい。</li> <li>・ 様々な取組を模索しつつ、複数の自治体、工学系教育機関（高知工科大学や工業高等専門学校）、郵便局等と連携を図ってはどうか。</li> <li>・ 全国的にデジタルに関するスペシャリストは不足する可能性があり、人材の育成や雇用などの対策が必要であり、四万十町においても組織の機構改革を検討する必要があるのではないか。</li> <li>・ 災害時に使用できるように住民の中からドローン操縦士の育成をお願いします。</li> <li>・ コンビニ交付の住民票等の利用ですが、四万十町ではアンドロイドと 아이폰の両方とも使用可能になるのかなと思っていますが、ぜひ両方とも使えるようにしていただきたい。</li> <li>・ K P I に設定してあるスマートフォンの相談会の開催回数ですが参加者数にしてはどうか。</li> </ul>

## 全体を通して

- ・ 四万十町は他の自治体と比べてもデジタル活用を得意としている方だと思うので、デジタルが進んでいる地方の町として売り出してもらえたらと期待します。一方でデジタルはあくまで手段であり、電源なしでは使えないものなので、利用するところは利用するけれども、なくても大丈夫なまちづくりをしてほしいと思う。
- ・ デジタルを活用することによって生活環境が改善されるように期待をしたいと思います。
- ・ 国際化という視点が全般的にどこにもないような気がします。ご存知のように円安の影響で、今各種商談会は非常に海外からの取引も多い状況です。また、観光客の方々も非常にインバウンドで、多くの方が海外から観光に来ています。また、人材不足の面についても、もう当たり前のように外国人の方が国内でも働いていることを踏まえ、全体的な記述を検討されてはどうかと思います。